

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol.16 2006.11.25

-----  
インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。  
配信は原則5日毎(5/10/15/20/25/30日)に一話です。  
-----

皆さん、こんにちは。  
今日の内容は《食べ物編 Food6》です。

#### ■16【果物の王様はかくも匂う】

今年(1998)は例年になくドリアンの当たり年です。  
ふつうは雨季の始まりと共に現れ、雨季の終わりと共に市場から消えてしまいます。それが乾季も盛りになるはずの6月の終わりに、まだ豊富に出回っているのです。

ドリアン売りの青年は、

「今年は切れることなく、ずっとあるよ」

と威勢の良い事を言っていますが、果たしてどうか。

いつもそうですが、ドリアンの消え際はとにかく早い。ぼくにはいつまでも続くとは到底思えません。

ドリアンは雨季の果物ですから、

「広いインドネシア、雨季に当たる地方を行き来すれば、1年中食べることも可能なのではないか」

そんな馬鹿な考えもふっと浮かんだりします。

ドリアンは「果物の王様」と言われますが、これほど人によって好みの分かれるものはありません。

初めての方は、何よりもまずその強烈な異臭に参ってしまうのです。

好きな人には良い匂いでも、嫌いな人にとっては「臭いはまっぴら、見るのもいや」となります。

ぼくは一度だけ、丸々1個のドリアンを日本に持ち帰ったことがあります。

妻のお腹が大きかった時、「ぜひ日本で食べたい」と空港の荷物検査人にチップを渡したのです。

これは違法ではなく、日本へのドリアン持ち込みは自由です。その証拠に成田ではフリーパスでした。

機内持ち込み禁止の理由は、ただただその異臭にあります。ですから、出発時の検査で拒絶されます。

手荷物はもちろん、預ける荷物にもドリアンの影が写るとその場でアウト。近くの喫茶カウンターで食する羽目になります。

その後何度も機内持ち込みを試みましたが、いずれも空港の検査員は首を縦に振りませんでした。

一度持ち込めたのはとてもラッキーで、もちろん妻の大きなお腹のせいだったのでしょ。

この時に使用したサムソナイトのトランク、どうなったと思いますか。

「硬い棘で傷付いた？」

それは新聞でぐるぐる巻きにしたので大丈夫です。

やはり「臭い」です。喩えようのない異臭を、トランクはその後3年以上も放ち続けました。

開け放しても干しても、臭いは消えません。トランク内の布地、その繊維の一本一本にまでしみこんでしまうんですね。

だからホテルでも持ち込み禁止になるのです。

いかにドリアンの臭いが強烈か、知らない方にも少しは想像できると思いま

す。

このトランクはその後脱臭剤を3個ほど入れ、しばらくしてやっと平常に使用可能となりました。

さて、ドリアンが大好きな人は、日本で食べたいがため、また家族への話の種に持ち帰るための労力を惜しみません。

禁止となると、いかにして日本に持ち込むか。これに命を賭け、涙ぐましい努力をしている人たちがいるのです。

さあ、どうするか。

まずドリアンの果実を取り出し、1房ずつサランラップに包んで冷凍します。帰国直前にそれをタッパに入れ、厳重に包装しトランクに詰め込みます。

包装はガムテープを5重巻きにしないと、匂いが外に漏れるとか。最近ではタッパ代わりに、口の狭いビスケットの空き缶が良いそうです。

ぼくは、殻を開けてその場で食べるのが好きなので、とても果実だけを持ち帰る気になれません。

その果実かというと、殻のごつさからは想像もつかないほど柔らかく、繊細な果肉なのです。

殻付きの本物が以前、新宿のタカノに1万円で売られていました。

現地で買うと大きさにもよりますが、円換算で大体500円が相場です。今ではルピア暴落により300円位、供給の多い産地では1個60円のこともあります。

相場の500円でも、現地の人にはかなりの高級果物になります。日本では真夏のスイカも買えない値段ですけど。

それでこの国では王様がいただけるのですから、とても幸せです。

最近では、上野のアメ横で冷凍ドリアンを売っています。

また、生の丸々1個が比較的安く手に入る店もあるようです。臭いの少ないタイ産で、2,000 - 3,000円台と格安。

ドリアン狂の人たちが殺到してはいけないので、どこかは内輪の秘密にしておきましょう。

追記：一時いろいろなスーパーでドリアンを売っていましたが、慣れない果物の販売は熟し加減などでお客様の苦情が相次いだのでしょうか。今でも手に入るのはタイの食材店、季節はあちらが雨季の5～9月頃ですね。

=====

インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol. 17 2006.11.30

-----  
インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。  
配信は原則5日毎(5/10/15/20/25/30日)に一話です。  
-----

皆さん、こんにちは。

今日の内容は、星のお話《自然編 Nature 5》です。

#### ■ 17 【天頂のオリオンと南十字星】

小さい時からぼくは、夜空の星を眺めるのが大好きでした。

真冬の寒さの中でも、飽くほど星空を仰ぎ、写真など撮ったものです。

さて、場所はインドネシアのジャングル。1月中旬の夜9 - 10時頃でしょうか。宿舎の外に出て夜空を見上げた時、オリオンの三つ星がなんと頭の真上から降り注いできたのです。

この強烈なインパクトに呆然として、天頂の三つ星を仰ぎ続けました。なぜなら、日本では凍える寒さの中で、仰角50度付近の南の空に見慣れていたからです。

よく考えれば当然のことですが、一瞬ぼくには信じられない映像でした。

それから、寒い日本とは対照的な赤道直下の暑い国にいるという現実。ぼくらの地球が丸くてとてもでかいことに改めて気づき、感激したのです。

「冬」(南国では雨季の初めに当たる)の夜空は澄みきり、眺める星座もほか

の季節を圧倒しています。

中でもオリオン座は、右手にこん棒、左手に楯を構え、隣の猛牛と対決している巨人の獵師オリオンを表わします。

肩と脚部の明るい星が形づくる大きな長方形が素晴らしく、三つ星はオリオンのベルトに当たり、まさに王者の貴禄十分。

斜めに並ぶ三つ星を左下に延長すると、大犬座にあるシリウスが光り輝いています。このシリウスは全天一明るい星で、その名も「ぎらぎらと光り輝くもの」を意味します。

そして、すばる（昴）、オリオンの右上方のおうし座の中に、輝いています。

この「すばる」はれっきとした日本語。清少納言も『枕草子』で「星はすばる、……」と、既に平安時代に一番美しい星にあげています。

一箇所に集まっている様子を形容する言葉（ものをしぼる、むすばる）が語源であるように、実は一つの星ではなく、肉眼で6個ほどの星の集まりです。

西洋名は、プレアデスという散開星団で、永く眺めても飽きない素敵な星たちです。

「すばる」でちょっと脱線しますが、谷村新二の歌う「昴」はこの国ではとても有名ですが、その上に行くのが「心の友」です。

「えっ、誰の歌なの」と驚くかもしれません。

インドネシア人なら誰でも知っているこの曲は、85年頃に現地で発売された五輪真弓のカセットに入っています。もちろん日本語の歌詞のままなので、「ココロノトモ」とはどういう意味か、と現地の人からよく聞かれます。

「あなたから苦しみを奪えたその時……」で始まるこの歌は、彼女の暗いイメージを一新し、ほのぼのとした明るい名曲です。

テープにある「リバイバル」をあわせて、二つの曲をインドネシア語に翻訳すれば、シングルCDの再大ヒット間違いないですね。

また、星の話に戻りますが、オリオンの三つ星に比べると、南十字星は全く別の感動を覚えます。

正式名みなみじゅうじ座、英名サザンクロス。中学生の頃日本で見ることのできなかった（当時は沖縄返還前）この星座は、南国の空への憧憬でした。

サザンクロスはとても小さいですが、周りの銀河の中から四つの星の十字が優雅に浮かび上がり、南国の夜空を素敵に彩ります。

この南十字星、春から初夏にあたる4月から6月頃の夜半前に、南天の中ほどにそっと輝いています。

86年4月バリエで眺めた空には、ハレー彗星が南十字のすぐ近くに淡い光を放っていました。76年に一度姿を現わすこのハレーも、憧れの1つだったことは言うまでもありません。

ついでに、夏の星座をちょっと。

カリマンタンで出会った本物のサソりは真っ黒でしたが、さそり座の心臓付近にあるアンタレスは真っ赤な星です。

このさそり座も、日本に比べてはるかに高く天に輝いています。

毒のある尾の曲がり具合など、それはもう見事で、夏の夜空にふさわしい実に雄大な星座です。

ところで、星座はいつ頃できたのでしょうか。

すでに紀元前5000年ごろには、太陽や月とともに動物の姿が描かれており、古代エジプト王朝（紀元前3000～400年）では、ほぼ完全な全天星座があったようです。

現在の星座の大部分は、紀元2世紀にアレキサンドリア（エジプト）の天文学者プトレマイオスにより整理集成されたものです。その著書には、ギリシア神話（紀元前9世紀頃）に基づいた48星座の記載があります。

ここで、新たな疑問。紀元前には南国は未知ですから、南半球の星座は？

やはり、南天の星座は大航海時代以降に付け加えられました。ちなみに、南十字は1624年に創設された新しい星座です。現在全天の星座は、88座あります。（草加英明：『星座の楽しみ』、現代教養文庫、1967年による）

星空に種々の人や動物の形を描いた、古代の人の想像力には感服します。

当時のそれこそ「降るような」星は、夜空に散りばめられた宝石だったのでしょう。きらめく星の神秘さを、何かに喩えたかったのかもかもしれません。

古代のようにはいきませんが、南国の空は日本に比べるとかなり澄んでいきます。都会から離れると夜の明かりも少なく、星がたくさん見えます。

星にちょっと興味のある方、インドネシアの夜空をぜひ一度仰いでください。

そして、素敵なお星を見つけ、壮大な宇宙に想いを馳せ、あなただけの星座を描いてみませんか。

=====

#### インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

#### インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol.18 2006.12.5

-----  
インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。  
配信は原則5日毎(5/10/15/20/25/30日)に一話です。  
-----

皆さん、こんにちは。

今日の内容は《自然編 Nature 6》です。

#### ■18【懐かしさを覚えるジャワの田園風景】

ここは東ジャワ、クディリ Kediri 西方にあるウィリス山 G.Wilis ( 2 , 169 m ) 南東山麓部の丘陵地にあたり、今建設中のダムが近くにあります。

月曜から金曜まで毎日、平地から丘陵地の尾根道を通り、ダムの現場に通いました。車はいすゞの四駆風パンサー Panther、現地生産車で現地の人はパンテルと発音します。

乾季も2ヶ月近く経ち、6月も終わり頃になると、車窓から見える小高い丘の風景は「晩秋の装い」を呈してきます。

南国に秋はないので不思議だと思ってしまうでしょう。しかし、連日雨が降らず、地面が乾いてくると、落葉樹の葉が落ち始めます。その風情は、まるで日本の秋のようです。

「インドネシア」と聞くだけでも、熱帯雨林のうっそうとしたジャングルや、常緑広葉樹の生い茂った風景を思い浮かべる人も多いでしょう。

しかし、このジャワの風景は、たとえば沖縄辺りの深緑の照葉樹林など思い

のほか少なく、むしろ本州にある山村とほとんど変わりません。

ジャワ島は火山が多く、大地はロームで覆われています。ですから、気候以外の自然条件は、火山国の日本と類似しています。

なだらかな丘陵に、うねり続く田園風景。厳密には個々の樹木は異なりますが、落葉広葉樹や針葉樹も意外と多いのです。竹もあれば、もちろん雑草など至る所に生えています。

このように、のどかな田園や丘陵のある風景は、日本の本州辺りとかなり似通っているのですが、よく目を凝らすと決定的な違いに気がつきます。

何だと思いませんか。

それは、高くそびえるヤシの木と、あまり高くない「バナナの木」です。

それらの樹形は本州付近には見られないもので、相似の風景の中に所々はめ込んだ感じがします。

言いかえれば、ヤシやバナナが存在することでやっと南国の風景だと、逆にわかるのですね。

「バナナの木」と言いましたが、実はバナナは立派な多年草です。草である証拠に、同じ「木」は何度も実をつけません。

一度花が咲いて、実がなるとそれでおしまい。新しい芽は古い茎の根元から成長し、またおいしい実をつけるのです。

丘陵地にある水田（陸田ではない）は、一般に三毛作が行われており、約4ヶ月毎に収穫時が訪れます。

その時期は多少ずれることもありますが、2月、6月、10月頃で、それぞれ雨季の只中、乾季の初め、乾季の終りに当たります。

今はちょうど、その稲の刈り入れの時期になるのです。

次の田植えは、この刈り入れ時から1ヶ月ほど遅れて行なわれます。季節で言うと、それぞれ雨季の終り、乾季の只中、雨季の初めになります。

雨季には、水田に必要な雨の供給は充分です。しかし、なぜ乾季に稲作が可能なのでしょうか。

それは、ジャワの火山地帯に賦存する豊富な水によるのです。

乾季でも、山間からの水は枯れることがなく、用水路から供給されます。

したがって、灌漑が発達している近隣の丘陵地や、棚田の多いバリなどでは三毛作が可能なのです。

丘陵地に比べると、広大な平野では二毛作がふつうです。雨季の初めと終わり頃に田植えをして、乾季には地下水を汲んで対処します。

稲は日本に比べるとかなり低く、高さ60～70cmにしか成長しません。高さが低い分だけ収穫も早いというか、そのような品種なのでしょう。

ばくの実家の裏手は当時一面田んぼで、稲のある風景に郷愁を覚えます。そして、この国の田植えや稲刈りは、昔ながらの日本の情景と重なります。

ふつうどちらも全くの手作業で、隣近所の手を大勢借りて行ないます。

しかし、昔の日本のような手による田植えは同じですが、刈り入れ後の稲の扱いは日本とまるで違います。

日本の稲刈り後は、今でもよく見かけますが、田んぼの真ん中に竿を張り、藁のまま2～3週間天日に干す方法が一般的です。

刈り入れは秋の晴天が続く時期に当たり、雨に降られる心配もないからでしょうね。

こちらでは刈り取った稲は、もちろん手伝いの人も総出で、すぐに自宅に持ち帰ります。家がちょっと離れると、自転車などで少しずつ運びます。

妻が小さい頃の田舎では、その後の脱穀は棒で叩いたり、足で踏んづけたりして、庭先で籾殻（もみがら）米にしたようです。今ではもちろん脱穀機がありますが。

苦労して得られた籾殻米は、庭先のシート上に広げられ、直接天日に干されます。これは、まさしく雨季の刈り入れを考慮した方法なのでしょう。

雨が降ってきたら、米はシートのまま軒先に込めば良いからです。そのためか農家の庭先は広く、かつコンクリート張りになっています。

これが道路沿いの狭い家になると、道端のアスファルトを自分の庭と見たと、悠然と米を広げている光景も見られます。

稲作に関しては、それぞれの国や土地に合った方法、生活の知恵があるんで

すね。

=====

インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol. 19 2006.12.10

-----  
インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。  
配信は原則5日毎(5/10/15/20/25/30日)に一話です。  
-----

皆さん、こんにちは。

今日は、火山のお話《土地編 Land 5》です。

#### ■ 19 【世界屈指の火山列島とその災害】

世界で史上最大の火山災害がどこか、皆さんご存知ですか。

実は、インドネシアのタンボラ山\* G. Tambora (スンバワ島) が記録しています。

1815年4月5日から5日間続いた噴火により、大きさ30平方kmの大クレーターが生じました。その時に吐きだされた150立方kmの噴出物による直接の被害者数は、約1万2千人。

さらに、スンバワ・ロンボク島の広範囲の農地が廃土と化し、続く飢饉による死者が約8万人。犠牲者は合計92,000人にのぼりました。

成層圏15~50kmに達した火山灰は太陽光線を遮り、その年は世界各地で異常気象が相次ぎました。

アメリカ北東部では6月に雪と氷による寒さが続き、ヨーロッパでは低温による収穫の悪さから食糧が不足したといえます。

史上二番目の火山災害も、インドネシアで起こりました。

1883年8月26日、クラカタウ Krakatau（ジャワ島西方45 km沖）の噴火は、爆発音が遥か遠くラングーン（ビルマ）やパース（オーストラリア）にも届いたそうです。

海上の島の大爆発により、優に10 mを超える津波が発生し、周辺のスマトラ・ジャワ島沿岸の住民を飲み込みました。その余波は、1日半後にフランスの海岸にも達しています。

噴火量は18立方 km、成層圏を突き抜けた火山灰は26 km上空まで上がり、150 km四方を昼から夜の闇に変えたのです。

このクラカタウの被害は、9割が津波によるものですが、約36,400人になります。

このようにインドネシアの噴火災害が、世界1・2番目を記録していますが、もう少し全体的に見てみましょう。

西暦1,000年以降に300人以上の犠牲者があった火山はどうか。

これでも世界33火山中の14火山（重複あり）がこの国にあり、ほぼ半数近くを占めています。大規模な火山災害の国別比率は、イチローでもまだ成し得ない4割をはるかに上回る高率になります。

また、国連関連がまとめた資料では、驚くべき数字が出ています。

過去300年間の火山災害の犠牲者数256千人中、インドネシアが155千人を占めるのです（もちろん先の2火山を含む）。これは実に60%に相当し、国別でもうれしくない断トツです。

インドネシアは、世界でもまれなる火山災害大国なのです。

以上は過去の噴火災害暦ですが、今後この国の火山はどのくらい危険なのでしょうか。

バンドンの火山地質災害対策局では、噴火タイプ・噴火頻度・周辺人口などから、国内の火山について危険度評価を行ないました。それによると、今ある24の活火山中、ジャワ島の2火山が最も高得点となったのです。

一つがメラピ山（中部ジャワ）。今年の5月にも噴火が起っていますね。

過去にも1006年3,000人、1672年300人、1931年1,3

69人の被害者数を記録しています。特に1006年の大噴火では、当時の王国が滅亡したとされています。

メラピ山は、溶岩ドームがゆっくりと成長し、その一部が崩落して火砕流が発生するのが特徴です。火山噴出量も非常に多く、熱雲を伴う火砕流がいちばん危険です。

例の雲仙で発生したような火砕流が時速100km以上で襲って来たら、逃げようがありません。小噴火は頻繁（十年に一度くらい）に起こっています。

もう一つは、現在でも活発なクルッド山（東ジャワ）で、水蒸気爆発が特徴です。山頂部にある火口湖の水が、火砕物と共に一気に山を駆け下りるので、その被害が大きくなるのです。

過去にも5,000~10,000人規模の災害が二度発生していますが、このクルッド山の噴火対策はちょっと変わっています。

1919年の噴火後オランダの技術者が、火口湖の水位低下のために火口の横からトンネルを掘り、水を排水させました。

近年でもこのトンネル作戦は継続しており、日本のコンサルタント会社も一役買っています。被害の軽減に効果があるようです。

さて、この国にはたくさんのカルデラがあります。日本で代表的な山は阿蘇山ですね。

一般にカルデラは、火山の噴火後に山頂部が陥没して形成されたものですから、その大きさと現状の山体から爆発前の形がある程度想定できます。

先のタンポラ山\*はカルデラの直径が6km、深さ1,100m、そして現在の標高が2,851mです。この史上最大の災害のあった山は、噴火前には4,000mを優に超えていたと思われます。

スマトラにあるトバ湖 D. Toba も壮大なカルデラ湖で、長さ100km、幅31kmと東南アジア随一の規模を誇っています。

琵琶湖よりも大きく、淡路島や佐渡島が入ってしまう大きさです。また、湖内にある島（サモシル島）は530平方kmで、シンガポール島に匹敵します。

トバ湖は今から75,000年前に形成されたと考えられており、その形成

過程は火山爆発と大規模な陥没地形成によるものです。

有史以前で記録がないため、その被害は全く不明です。周辺に住んでいた当時の人類は、火山の噴火と地殻変動の壮大なドラマを、どのように眺めていたのでしょうか。

\*タンボーラ山:発行者HPでグーグルアースの立体画像が楽しめます。

=====

### インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

### インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol. 20 2006.12.15

-----  
インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。  
配信は原則5日毎(5/10/15/20/25/30日)に一話です。  
-----

皆さん、こんにちは。

今日は、山に関するお話《土地編 Land 6》です。

## ■ 20 【神秘の山・高い山よもやま話】

1994年のある日のことです。国内航空ムルパティ機で、クーパン(チモール島)からマウメレ(フローレス島)経由でマタラム(ロンボック島)に戻る途中でした。

ぼくの搭乗機は、マウメレを離陸して程なく、急に右へ大きな旋回を始めたのです。

最初は、何事が起こったのか不思議に思いました。

そのうちに、傾いた方の窓際の乗客が、機外を見ながらざわつき始めたのです。機内中ほどに座っていたぼくが何事が聞くと、「山が見える」との返事。

急いで乗客の頭の間からその方に目をやると、ほんの一瞬、緑と青色の二つの湖が目飛び込んできました。

山頂にある三つのカルデラ湖、それぞれが異なる色を呈し、三色の宝石にも似た神秘的な山。それが、あるのです。

その神秘の山の名は、クリムトゥ山 G. Krimutu ( 1 , 6 3 4 m )

バリ島の東方400km、ポルトガル商人が花の岬と呼んだフローレス島にあります。

ガルダ機内誌(1998)によると、これらの湖は1996年には17回以上も色を変え、碧青から白みがかかった色へ、深緑からオリーブ色へ、栗色から茶色、そして黒へと変化した、とあります。

北東部の孤立した湖は、1979年以来暗いコーヒー色のままですが、隣り合う2つの湖は色の変化が激しく、一つが碧青から薄緑へ、もう一つは黒から赤、そして深緑としばしば色を変えるのです。

事実、この国の500ルピア紙幣の裏に印刷されている三色湖は、一つが真っ赤に染め上げられています。

三つの色の違いは、水中に含まれる鉱物組成の違いから生じます。さらに、天候や時間でも微妙に色を変えるのです。

この千変万化する不思議な三つの湖、数少ない写真を見る限り、実に神秘的で美しい。

吸い込まれそうな色を湛える三色湖は、世界でも類のない景観です。

一瞬の出来事、そして二つの残像ではとても物足りない。その山頂に立ち、すべての湖をじかに飽くほど眺めてみたいのです。

この信仰の山は雲に覆われていることが多く、天気の良い時には上空を旋回するのが機上のサービスなのでしょう。

ここを訪れるのは、4～10月の乾季、しかも早朝10時ごろまでが好機のように、時間にかかなりの余裕がないとなかなか行けないですね。

もう1箇所、ぜひ訪れたいのが中部ジャワにあるディエン高原です。ディエンとはサンスクリット語で「神々の座」を意味し、8世紀頃のマタラム王朝ではヒンドゥー教の聖地でした。

当時の寺院が高原に点在し、硫黄の噴き出す地熱帯やエメラルド色のカルデラ湖など、行きたい気持ちをくすぐります。

ディエンは標高2,000mを超える霧深い高原で、ジョグジャの北西約8

0 km (路線で約130 km) に位置しています。

実は、ジョグジャ滞在中に思い立ってホテルまで予約したのですが、当日運転手が歯痛を起こしてキャンセル。今もって心残りですね。

さて、この国で一番高い山はイリアンジャヤにあるジャヤ峰 G. Jaya です。標高5,030 m、熱帯地方の中で万年雪に覆われています。

この東南アジアの最高峰は火山ではありません。このジャヤ山に連なる尾根には、4,000 m級の無名のピークが数多くあります。

そのひとつひとつに名前をつけると、インドネシアの高山はこれらで占められることになります。

一般に言われている、2番目の高峰クリンチ山(3,800 m、スマトラ島)や第3の高山リンジャニ山(3,726 m、ロンボック島)などは、10指にも入れないでしょう。

1994年リンジャニ山(富士山と50 m違い)は、ほぼ100年ぶりの噴火を起こしました。

これも、先のクリムトゥ山(のごく一部)を見たのと同時期に当たり、機上から噴煙を目の当たりにしたのです。

また、世界最大の噴火といわれるタンボーラ山も、機上から眺めました。

山の上部が吹き飛んでカルデラがあるというこの山は、山頂部が平らな楕状を呈しており、とても印象的でした。

先日マラン Malang のホテルで、「冠雪した」スメル山の写真を見ました。

スメル山(3,676 m、東ジャワ)は富士山そっくりのコニーデ型で、どう見ても雪など降るわけがありません。

尋ねると、雪と見間違えた白いものは、噴火直後の火山灰とか。太陽の光線の具合により、白くも赤くも見えるそうです。

このスメル山、スラバヤ・バリ間の機上から優雅な姿を何度も見っていますが、ついに2002年に初めて地上から見たのです。

富士山と100m違いのジャワ島一の高峰。しかし、マラン付近からの眺めはあまりパツとしないものでした。スメルは尾根の連なりの中の高峰で、機上で見たような優雅な山容ではありません。

ぼくはどちらかと言うと、独立峰—例えば利尻山や富士山—が好きです。海や平地から広い裾野を形成しているその雄姿に、孤高の気高さを感じるのです。

=====

### インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

### インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====